



19

ほたるま
螢舞い飛ぶ
しぜん しんすいりょくどう
自然の親水緑道

大阪府豊中市利倉1丁目

豊中市は、大阪府のほぼ中央、千里山丘陵が大阪湾に向かってゆるい傾斜をみせる段丘に位置し、古くは先史時代からの遺跡や古墳が数多く分布している街である。〔文化・観光〕大石塚小石塚古墳、大塚古墳、小曾根西福寺、民家集落博物館、服部緑地

豊中市は大阪の近郊に位置し、近年都市化が著しいところである。市の南西部を流下する豊能南部排水路を下水道とし、その上部を水と緑の遊歩道として整備した。

遊歩道の両側には季節ごとに花、いろづく実や紅葉を楽しめるよう樹木約五〇種類、一万七〇〇〇本を配し、一年を通じて緑豊かな散策路となっている。水生物をよみがえらせ、街の中で子供たちが水遊びのできる水辺を復活、初夏には螢が舞い飛ぶ「螢の里」を設けた。

住民が憩いを求めて散策し、水辺との結びつきを深めるやすらぎとうるおいの緑道として親しまれている。

